

さくら通信

平成 24 年 11 月 11 日

No 30



発行者：NPO 法人 下関深坂さくら友の会

住 所：下関市安岡町 1-8-3

TEL:083-258-0143 FAX:083-258-5910

Eメール：misaka.sakura@arrow.ocn.ne.jp

HP：<http://yasuokac.sakura.ne.jp/sakura>



9月9日 定例会

いつもの光景。短い準備体操だが、互いに安全に気を付けて作業にかかりましょうという空気を作り出しているのではないだろうか。
この日の参加者は41名。



駐車場

この日は深坂茶屋の駐車場が主戦場。現場に到着、草刈部隊は機械に一斉に燃料を補給。それが済むと、現場に散開して攻撃開始。

垣に伝うはただ蔓

石垣に取り付いて、攻撃するのは手鎌部隊。一夏で石垣は蔓に覆われてしまう。

「荒城の月」の一節
「垣に残るはただ蔓」が思い浮かぶ光景だ。

通りがかった人が声を掛け、無料奉仕のボランティア作業だと知つて驚いていた。

作戦終了

つわもの達が去った後は、広場にはヤッキヨウ一つ落ちてなく、すがすがしい光景に変わっていた。

ハヤシライス

森の家に帰ってきたつわもの達を待っているのは、婦人部隊の心づくしのご飯。この日はハヤシライス。3杯もお替りをしたというのどなた？

10月の活動



通常、偶数月の第2日曜は、維持管理部会の作業日になっているが、9月の定例作業が思いのほかはかどった為、10月14日はお休みとなった。しかし、この気候の良い時期に休んでいるのは勿体ないと、事務局に届け出てボランティアで、数名ずつ山に入る人達が多くなった。もみじ谷の整備、桜調べ、地図作り、名札つけなどが行われた。それらの情報を事務局がまとめて、地図やリストの最新版の維持に努めている。会員交流部会は会合をかさね、来年のさくら研修旅行のコースを検討中。



松枯れ防止実験

2009年7月にEM(有用微生物群)を用いた松枯れの防止実験を17本の松に番号をつけ開始した。9本にEMを投与し、8本に無投与で様子を見たが、3年目の今年、枯死せずに残っているのは3本のみ。2本はEM投与対象の松。1本は2年目からEM投与。有意性があるのか。



深坂ダムを見下ろす道端の生垣に白い花が絡まって咲いて居ました。9月9日写。(キンポウゲ科仙人草)

投稿

さくら友の会に入会して思うこと

新入会員 康成 より

私はさくら友の会に入会して2年目の新入会員です。何も判らぬままに皆さんと共に活動に参加しているうちにだんだんといろんなことや苦労や喜びが見えてきました。先ず感じたことは、ここに集まってこられる人々は、心から自然を愛している人たちの集まりだということ。さらには、みさかの森を市民が楽しみ憩う場所にしたいと心の底から思う気持ちが強い老若男女の集まりで、本当のボランティア精神のかたまりのような“善意と奉仕”の団体だと痛感します。

暑さ寒さの中、そして雨の日も風の日にも 普通の笑顔で集まってこられる。一銭のみかえりも無いのに・・・です。多士済々の人たちの集まりで、その仲間からいろんな事を新たに習得出来ています。

個性の強い人が多いが、意外と和気あいあいなのが好ましい。比較的年配者、いや“若老人”が活発に活動されているし、次から次に、あれもしたいこれもやってみたいと好奇心に富んだ人たばかり。無理をせず マイペースで楽しみながらやってほしものです。

新しい人たちも誘い、ますます、輪が広がって、楽しみを共有して行けたらと願っています。

私も 自分の健康のためそして大きく言えば後世の人の為に末永く活動させて頂きたいと願っています。

(松岡康成さんは熱心さと植物に対する知識経験の豊富さを買われ、推薦され今年から理事になっています。)

次回予定 (第3回定例会)

日時：1月8日 9時～

場所：深坂自然の森 森の家